

# わか草

第32回 平成26年10月1日  
発行 東京都立東部療育センター  
広報委員会  
東京都江東区新砂3-3-25

## 風物詩 花火を 楽しむ夕べ



トリを飾った大噴火花火



みんなで楽しく手持ち花火！  
素敵な浴衣を着て、ご家族と一緒に手持ち花火を楽しむ利用者様



夏の風物詩「花火を楽しむ夕べ」が開催されました。今年音楽を一新し、毎年恒例の火車や大噴火花火とともに盛り上がりは最高潮！通所ではちよっとした寸劇が話題になったとか。また多くのご家族の皆様にお越しいただき、「すごくいい顔を見ていたよ」「家族で楽しむことができました」など、嬉しいお言葉をたくさんいただきました。皆様ありのままに楽しんでいただけたようです。



通所の「花火を楽しむ夕べ」職員による寸劇の様子  
(劇「アキと夏の女王」)



楽しいバスハイクの様子



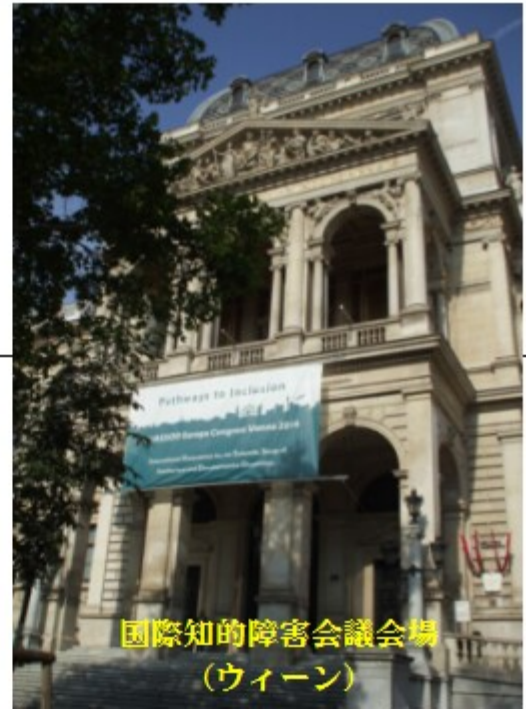
写真右) お台場フジテレビにて「ラフくん」と記念撮影  
写真左) イクスピアリにて一緒に行ったお友達と笑って「ハイ・チーズ」

## 恒例 バスハイク

七月と九月にバスハイクに行ってきました。七月はお台場フジテレビに、九月はイクスピアリに行ってきました。フジテレビでは、マスケットの「ラフくん」と幸運にも記念撮影ができました。イクスピアリは一緒に行ったお友達と楽しかった思い出に写真を撮りました。

## 「国際知的障害会議に参加して」

東京都立東部療育センター  
副院長 岩崎 裕治



国際知的障害会議会場  
(ウィーン)

平成二十六年七月三十一日、ウィーンでの国際知的障害会議（IASSIDD）に出席し、ドイツのグループホームや病院を見学してきました。

IASSIDDのワークショップでは、ケアをする人達も含めた環境を充実させることにより、知的障害をもつ人々へ働きかけることができる、このような心理学的な考

え方をケアにも取り入れていくべきという話を聞きました。また、ケアをする人をただ良い悪いと決めつけるのではなく、ケアをされる側の要因が（たとえば行動異常など）虐待やケアの質の低下にもつながる、そこでこのような場合にどのようにケアをする側を支えていくかということも熱心に検討されていました。当然そうなるもおかし



Diakonie Kork病院のスタッフの皆さんと岩崎副院長（右）

ない状況があることを認め、それを防止するにはどうするのかということを通じて議論してサポートをしていくという考え方で、日本でももっと検討されなければいけないことだと感じました。ドイツでは、ミュンヘンのLeben Purという障害児（者）をサポートする福祉団体をたずね、その紹介でRegens Wagnerが運営するグループホームを見学しました。このグループホームは集合住宅のような感じで、三十名ほどが暮らしており、資格をもった職員がケアをしています。

昼間は通所に通う方がいたり、様々な活動があります。総じて医療度は低い方が多かったのですが、胃ろうから注入している方も住んでおられました。翌日には、フランスとの国境近くにあるDiakonie Korkという病院で重症心身障害児者を診療されている医師に、病棟や通所、また居住施設の見学をさせてもらい説明を受けました。入居施設もあり三百名ほどの方が住んでおられました。通所は施設に住んでいる方や、また近隣からも通っていられていました。

## グループホームの現状と課題（欧州と日本の比較）

今回の国際会議では脱施設化についてのシンポジウムがありました。その状況は国により大分差があります。またグルー



Diakonie Kork病院

1982年 てんかんを持つ小児の病院として設立  
小児・成人のてんかん、重症心身障害の3つのクリニックをもち、結節性硬化症の治療センターも併設  
重症心身障害では、てんかん、疼痛、睡眠障害、嚥下障害、機能低下などの治療を行っている。

プホームが主体となっている北欧でも、コスト面や、専門性の問題からその集合化や大規模化などが最近みられるようになっていくとの報告がありました。グループホームには、自由度や選択性という面では、大規模な施設にはできないことがありますが、しかし、我々の先を行っている国の現状を良く認識し、また日本には在宅での重度化の問題などもありますので、重症心身障害をよく理解している当事者・関係者が、

重症心身障害児（者）の障害や医療度にあわせて、地域の中でどのような形で暮らしていくのが良いのかを考え、またご自身がご家族がそれを選択できることが理想であると感じて帰ってきました。



見学したグループホームの一室



# 第四十回 日本重症心身障害学会 学術集会に参加して

平成二十六年九月二十六日、二十七日の二日間に渡り、第四十回 日本重症心身障害学会学術集会が京都で開催されました。会場は参加者で溢れるほど盛況でした。当センターでは七題の演題が発表されましたが、そのなかの一部の発表についてご紹介させていただきます。

「経管栄養試行中の利用者に對する味覚刺激の反応」



発表する富崎さん

私は今回、自律神経とアミラーゼを使ったストレス反応を評価した研究を行いました。今回の学術集会でアミラーゼや自律神経活動を評価してストレスを見る研究が多数ありました。特にアミラーゼの研究は多くあり、重症児者に侵襲がないのと簡易に行えるという点でアミラーゼでのスト

レス評価の研究が増えていくののだと思います。今回の学会の参加を通し、重症児者へのストレス反応や不快を明確にしたいと思っっている医療従事者は多いと感じました。今回、自分が行った研究を面白い、やってみてみたいと思っただければ幸いです。又自分の研究を参考にして次の研究に繋がってくればよいと思

## 一日看護体験参加者を受けて

毎年、東京ナースプラザ主催による高校生・社会人を対象に一日看護体験者を募集しています。今年は、当センターに四人の高校生と一人の社会人の参加がありました。参加動機はそれぞれですが、総合



看護体験者と一緒の様子 (流しそうめんの様子) <屋外療育場にて>

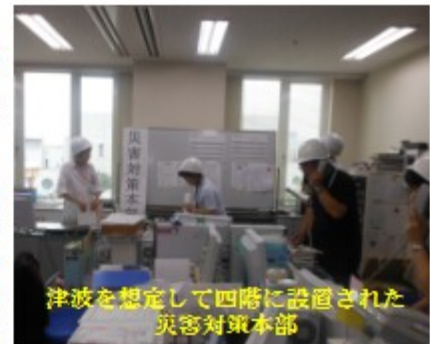
病院ではなく重症心身障害児者施設に関心を持って参加していただけることは、未来の療育を担う人材を育てる第一歩だと思いい大変光栄に思います。体温や血圧を測定したり、車椅子の介助をしたり、また行事活動を利用者と一緒に楽しんでらたという間のひと時でした。感想では、看護師という職業選択への意志を強くしたという高校生がおり、将来、看護現場で大活躍して下さることを切に祈っております。



当センター職員による発表の様子

います。様々な意見交換ができ、各分野の情報が分かると、貴重な学びが増えま

## 総合防火・防災訓練



津波を想定して四階に設置された災害対策本部

省事項を修正しながら訓練・研修を重ねてまいります。私たちは、地震、台風、集中豪雨、火山噴火等の自然災害が発生するところに住んでいます。関東地方にマグニチュード七クラスの地震が起こる確率が三十年以内に七十%と言われていま



搬送訓練の様子

それは明日かもしれないし三十年後かもしれない。私たちは災害について学び、イメージをもち、そして備えることがとても大切です。

## ボランティア紹介 (裁縫ボランティア)

(藤戸葉子さんより) 裁縫ボラの藤戸と申します。入所の方の服のリメイクや、色々な物のカバー(ウロパックや特殊な枕等)などをリクエスト頂き、作製させていた頂きました。入所の方のご家族に直接お会いする事はありませんが、看護

師さんを通じて感謝の言葉をいただく、とても励みになります。微力ですが、これからも少しでもお役に立てたらと思っています。

(房州敏子さんより) 初めまして。房州と申します。私の息子は塩浜福祉園に通所しています。週五日元気で通っています。センターでは、通院・シヨートステイなどでお世話になっており、とても感謝しています。その中でボランティアの事を知って、声をかけてもらい、少しでも感謝の気持ちでと私が出来る大好きな洋服・手芸で参加させてもらっています。これからも宜しくお願いします。



リメイクした服(右) 製作した衣装(左)

「八月」



シュニットマン氏来訪 (左から) 藤野部長、川上主任、シュニットマン氏、通訳

## 東部あねこれ

七月から九月の話題です。

六月の保護者懇談会で要望があった南砂三丁目公園の入口について、区職員立会いのもと利用者の協力を得て南砂町駅一番近い公園の入口が大きな車椅子でも通れることが確認できました。区の対応に感謝します。皆様もご利用下さい。二十三日と三十一日に一日看護体験が行われました。

「九月」



韓国研修生の皆さんと 藤野部長(右から2番目) 山田科長(右端)

また二十一日には、昨年に引き続き秋津療育園の韓国研修生も視察に来られ、交流

### 【お知らせ】

施設開放として地域の皆様に利用して頂いている温水プールですが、開放日を増やして欲しいとの要望にお応えし、七月より第一土曜日の午前中も利用できることとなりました(祝日の場合はお休み)。(ご利用できる時間帯) ① 十時~十一時十五分 ② 十一時十五分~十二時三十分

プール活動の様子

希望が多い場合は抽選となります。詳しくは地域療育支援室にお問合せ下さい。早速、申し込みがあり、楽しく利用されています。

### 認定看護師合格おめでとう!

影任主任 院長 念子 記子 中上 手我 加田 川上 合格証書(中央) (中左) (中右)

平成二十六年七月三日に認定看護師合格発表がありました。センターの皆様のご協力ののおかげで、慢性呼吸器疾患看護に川上給里子主任、感染

## 編集後記

夏の季節は、暑いながらも涼しい風が吹く。朝晩は冷たい風が吹く。季節は、暑いながらも涼しい風が吹く。朝晩は冷たい風が吹く。季節は、暑いながらも涼しい風が吹く。朝晩は冷たい風が吹く。

←これまでのわが草を閲覧したい方はこちらからどうぞ